

目標達成計画

グループホームのぞみ苑

作成日：令和6年5月10日

優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	期間
1	1 2 19 27	<ul style="list-style-type: none"> ・苑内の職員としての理念統一を図る ・報告の基準の統一ができていない ・サービス業として、介護を提供する事への職員の意識統一、意識の格差をなくす ・新入居の方々を含め、新たな家族様への対応の多様化が求められている ・比較的自立度が高い入居者様に対しての多様なニーズにお応えすること (その時間の確保と実践) 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業理念を理解し、共有した上での個人の目標を掲げて自信を持ったケア、人間力の形成に繋げる ・職員のケア・サービス向上の気づきの底上げ、解決まで持っていく力をつける ・職員一人、一人の資質の向上に繋がる研修の充実、発表の場を設ける ・良いことも含めた家族様との情報共有 ・家族様の想いを吸い上げて格差をなくす→聞き取る時間や家族様との交流を増やす ・入居者様の日課の充実、個人の願望の実現実績を増やす ・入居者様が「施設の人」ではなく、地域の一人として理解していただくための活動を実施し、運営会を利用した活動報告などに繋げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がそれぞれ理念と目標を発表、職員間の更なる協力体制に繋げ、理念統一を図る研修をする ・家族様からの連絡内容は必ず共有→遠方の家族様には出来る限りの情報発信(SNSを含む)、情報交換が出来る体制作りの強化 ・地域、家族様参加型レクを月一回開催し、日常の様子を見ながら一緒に過ごす苑独自の企画の実現 ・紙媒体(のぞみ苑だより)他地域への回覧・拡大だけでなく、苑の日常やケア方針のSNSで発信 地域、家族を巻き込んで行く交流会を定期開催 ・自立している入居者様に対する個別の旅行や外食などの定期実施や、遠方ご家族様が苑に宿泊も可能な関係作りの継続や場の提供 ・介護度関係なく、日課・趣味の新たな取り組みの個人の充実(合唱・寸劇などの定期開催をする) 	1年
2	3 20	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との日常的な交流の多様化、地域協力隊との運営会を通して出た意見の反映(元家族・民生委員・消防団・区長) ・美祢西地区の在宅ケアマネとの情報交換の場がない ・入居者の移設で円滑な情報交換が不足(他施設ケアマネ間同士の交流の場が少ない) ・外部評価の意見をより吸い上げやすくするための仕組み作りが整っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所と地域の付き合い方の多様化 ・地域のイベントへの参加と地域を招くイベント開催 告知の強化→インスタの更新と普及 ・美祢西地区のケアマネ見学会、施設間のケアマネとの情報交換の場を設ける ・運営会の発表の仕方が昨年度から、家族様・地域の方から評価していただきやすい仕組みに変える(記入などの負担も減らし、実の意見が出るように体制を整える) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会の構成員を増やし地域協力隊の増員 ・地元の方を招待したイベントを定期的で開催と告知を強化し呼び込める活動を充実→インスタで発信しフォロアーを増やす ・地域のボランティアの方々との交流、趣味など美祢市で研究されている方の講話など開催 ・市・町主催の定期開催されている認知症の方々を支える会(みにケアネット・あさがお・Happy Club)の参加と実例発表など含め苑の活動なども発信したい ・西地区ケアマネ見学会の開催実施、施設間のケアマネとの情報交換の場を設ける 	1年

	24 25 30	<ul style="list-style-type: none"> BCP（災害・感染対応）への体制作り 職員の理解の統一 地域を巻き込んだ災害対策の強化 救急対応・応急処置の対応力の研鑽をする時間確保 家族様状態の変化、アクシデントが起きた際の報告基準の職員間の統一 高齢者の歯科治療に難しさがある 	<ul style="list-style-type: none"> コロナを含む感染対策の強化と BCP マニュアルの刷新 医療との連携強化、急変などの対応の統一のための研修を継続 応急処置の研修の強化 家族様との連絡や相談を円滑に行う 認知症発症後の歯の治療の難しさや健康管理の大切さを地域に発信していく 	<ul style="list-style-type: none"> BCP 研修の実施（感染・災害・虐待） 避難訓練を継続的に実施 地域協力隊が活用できる体制作り（突発時の集結） 体験型の実践研修を強化して対応力を上げる 美祢市消防本部救急隊による研修の実施 日々の表情の変化を感じ、言動や行動の違いをアセスメントして共有する 歯科医による口腔ケア研修の実施 	1年
4	28 29	<ul style="list-style-type: none"> 苑では、食事に重点を置いているなかで、更なる多様化、個人に合わせた食事の提供、アピールポイントの充実が求められている 入居者様の食事形態に対する職員の認識にバラツキがあり把握できていない 高い評価をいただけているなかで、更なる評価アップに繋げたい 	<ul style="list-style-type: none"> 食を中心として、苑全体の活力を高めるために職員の意識を統一する 食を通して苑をアピールすることで興味を持っていただく 食レク（家族参加型）や、合唱（音楽イベント）企画して、入居者様と家族での協働での作品を作る 	<ul style="list-style-type: none"> 入居者様を中心に一緒に作り上げることを楽しみ、家庭生活の延長とし役割を確立し活力を高める 入居者様の嗜好、身体レベル、その日の状態に合わせて柔軟に対応できるように全職員が把握する 料理に関する専用ノートで職員の情報共有を図る 栄養が摂取しにくい方への配慮を職員が把握、食の形態をアセスメント、各々に合った食の提供実施 SNS 利用して苑の売りである食をアピールする 	1年
5	10 11 12 23	<ul style="list-style-type: none"> マンパワー不足、特に若年層のスタッフが少なく、将来的に更なるマンパワー不足の懸念がある 同業者との直接交流する機会が少ない 日々の職員同士の休憩確保、書き物の入るタイミングへの声かけや、時間厳守体制が定着しない 	<ul style="list-style-type: none"> 求人内容の充実化 最近リアルな会社の状況やありのままが見えるInstagramなどでの求人が募れる体制に変えて行く 同業社（グループホーム）との交流、情報交換ができる体制づくり、企画を実施 リーダーが他の業務報告などもある中、他の職員と日勤で組む中際に、日々チームワークを良くする体制を強化→声かけをしっかりとし合える体制を作りたい 	<ul style="list-style-type: none"> SNS や苑だよりを活用して日々の生活や行事などを公開、苑の取り組みを拡散、活動をアピールすることで職員増員に繋げる（SNS で求人をする） 求人内容は業務や賃金内容など詳細に記入しお互いの不一致をなくす。 近隣中学生の職場体験を活用できるように教育委員会や就職担当者とのパイプを作り、未来の職員に繋げる。（今後は高校・大学へと幅を広げていきたい） 若い世代の職員を雇用し、綿密な教育プログラムを確立して、長期雇用に結びつける 記録記入の簡素化、パソコン等の利用 美祢市包括開催「ハッピークラブ」や「あさがお」への参加の継続と、苑の取り組みを知って頂く 代表が美祢・宇部・小野田ブロックのGH 協会の 	1年

				<p>理事に入会、情報交換と他施設との交流を実現していく→求人はどここの施設でも課題である為その課題に対し、情報共有を行い、活性化して行きたい</p> <ul style="list-style-type: none">・理念念頭の上、各委員会の活動を活発にサービス向上につなげる研修や業務改善の実施を実現する・休憩時間の確保や定時内業務終了を実現するために、スタッフ会議や委員会でタイムスケジュールの振り返り実行を常に繰り返し、レク終了時間を厳守	
--	--	--	--	---	--

